

Injury Alert (傷害速報) 類似事例

No.67 医薬品の誤飲による意識障害、けいれん 類似事例 (医薬品の誤飲)

事例	年齢：3歳0か月 性別：男児 体重：13.9kg	
傷害の種類	薬物誤飲	
原因対象物	アレンドロン酸（骨粗鬆症治療薬。週1回、1回の投与は1錠）	
臨床診断名	薬物誤飲	
医療費	8,460円	
発生状況	発生場所	自宅居間
	周囲の人・状況	祖父母、母親
	発生年月日・時刻	2017年2月10日 午後4時30分
	発生時の詳しい様子と経緯	テレビの裏の子どもの目が届かないところ（高さ＝130～140cm）に、本薬剤をPTP（Press Through Pack）包装のまま保管してあった。本児が食卓の椅子（座面の高さ＝40～50cm）を自分で運び、その上にのぼり、薬剤を取り出した模様。家人が気付いたときはPTP包装が3錠分破れており、周囲に薬がなく、子どもの口内にもすでになかった。
治療経過と予後	<p>午後4時56分に医療機関に到着。胃洗浄は当該薬物が食道穿孔の危険性を高めることが報告されているために実施しなかった。吸収阻害及び消化管粘膜保護のために、酸化マグネシウム及び牛乳を摂取させた。その後家族の希望もあり、本児に特に症状を認めなかったこともあり、帰宅した。誤飲後5日目と半年後に外来で骨代謝マーカーを測定する予定である。</p> <p>本剤は週1回、1回に1錠の内服で良い薬剤だが、昨今投与回数が月～年単位になっている薬剤もあるため、より一層誤飲を防ぐ手段を講じる必要がある。</p> <p>なお誤飲後5日目に測定した骨代謝マーカーは以下の通りであった。</p> <p>骨形成マーカー：骨型アルカリフォスファターゼ＝50.7U/L 骨吸収マーカー：血清NTX＝26.3nmolBCE/L</p>	